

No.8  
2018  
7/23



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本  
八王子地本  
ホームページ  
「東労組八王子」で検索



乗務労働の特殊性を形骸化し経験労働・人間労働を否定する乗務員勤務制度反対！  
安全第一で働きがいの持てる職場を実現する7.23運車集会

安全と働きがいを堅持した乗務員勤務制度を創り出そう！

7月23日、八王子生涯学習センタークリエイトホールにおいて160名を超える組合員と共に集会を開催しました。

冒頭、金井委員長より勤務制度見直しを働かせ方制度改悪とさせないためにも、今かけられている会社からの不当労働行為の本質的意義である「非組合員化による御用組合づくり」に立ち向かい、騙され脱退を余儀なくされた仲間の奪還に向けて全組合員でたたかう方針を述べました。

地本問題提起と車掌・運転士分科会による会社提案内容のシミュレーションで、今提案内容の理解と問題意識を深めた上で全体討論を行いました。参加者からは

- ・ 誰のため、何のための施策か。脱退の道具に利用されている事が許せない！
- ・ 私生活の一番忙しい時間に乗務しろ、は社員の生活設計を無視している！
- ・ 企画部門・指導員は本来業務に集中すべき。
- ・ 賃金改正は説明もなくタブレットを見ろ、これでいいのか。
- ・ 組織破壊と生産性向上はセットで行われる。
- ・ 運転士は士職＝サムライであり責任がある。ただ動かせばいいわけではない。
- ・ 我が分会の指導員は「昼は乗務員の顔を見ろ！PCは夜にやれ！」とした先輩の教えを守って実践してくれている。そんな指導員に乗務している時間は無い!!



など、日々の組合員との議論で実感している感想や問題点、譲れない視点が出されました。最後に地本鈴木業務部長より、業務を熟知する事の重要性を自覚し、安全性向上・乗務員及び指導員の増配置・支社企画部門は乗務させない・乗務効率のみ追求しない等々、地本要求実現に向けて本部交渉を支え、12 地本のたたかいに押し上げていきましょう。

会社が仕掛けている脱退策動＝不当労働行為は  
施策実施に向けた非組合員化の推進だ！

乗務労働の特殊性堅持、働かせ方の多様性に抗し、  
鉄道の安全を守る業務に集中できる体制を構築していこう!!